

平成 25 年 2 月 8 日

東京工業大学広報センター長
大谷 清

文部科学省 博士課程教育リーディングプログラム
「グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント養成」第 2 回国際セミナーの御案内
「原子力安全・セキュリティ・核物質防護のための国際原子力人材養成」
ー福島第一原子力発電所事故ー

原子核工学専攻は半世紀以上、一貫して原子力教育を実施してきました。平成 23 年度に文部科学省の博士課程教育リーディングプログラムに採択され、「人類の生存基盤を脅かす核拡散、核テロ、大規模な原子力災害や緊急被ばく問題等のグローバルな原子力危機」に対応できる人材を育成するために、「グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント養成」プログラムを進めています。プログラムでは、全寮制の「世界原子力安全・セキュリティ道場」を設立し、この道場に入門した学生達が教員と寝食共にしながら、切磋琢磨して逞しい博士として育つことを期待しています。

この度、この教育プログラム事業の一環として、海外や国内の著名な方々のご参加を賜り、下記の通り、第 2 回国際セミナー「原子力安全・セキュリティ・核物質防護のための国際原子力人材養成ー福島第一原子力発電所事故ー」を開催いたします。このセミナーの初日（2 月 18 日（月））と 2 日目（2 月 19 日（火））午前中のプレナリーセッションを公開にいたします。2 月 19 日（火）午後～2 月 26 日（火）のセミナーは、道場の学生の他、国内外の学生、産業界の若手技術者や行政官等、事前審査をして登録した受講生のみが対象です。

本件に関する取材をご希望される方は、2 月 15 日（金）までに、別紙取材参加申込書により FAX でお申し込みください。

記

日 時：平成 25 年 2 月 18 日（月）、2 月 19 日（火）午前（受付 2 月 18 日 8:30 から）
場 所：ホテル グランパシフィック Le Daiba
主 催：東京工業大学グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント教育院
協 力 機 関：世界原子力大学、欧州原子力教育ネットワーク、在日フランス大使館、ロシア中央継続教育・トレーニング機構、東京工業大学原子力国際共同研究センター等
参 加 費：無料（ただし、レセプション（意見交換会）会費：5,000 円（学生：1,000 円））
言 語：英語（初日のみ日英同時通訳あり）
一般参加申込：「グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント養成」事務局
<http://www.nr.titech.ac.jp/u-atom/Japanese/Events/index.html>
問 合 せ 先：東京工業大学 大学院理工学研究科 原子核工学専攻 齊藤正樹教授
Email: saito.masaki@nr.titech.ac.jp TEL: 03-5734-3060 FAX: 03-5734-2959

（セミナー プログラムは添付別紙参照）

文部科学省 博士課程教育リーディングプログラム
「グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント養成」

第2回 国際セミナー
「原子力安全・セキュリティ・核物質防護のための国際原子力人材養成」
－福島第一原子力発電所事故－

日時：平成25年2月18日(月)、2月19日(火)午前中（プレナリーセッション）

場所：ホテル グランパシフィック Le Daiba

プログラム

2013年2月18日(月)

開会の辞 (09:00-09:15)

歓迎挨拶 三島 良直 (東京工業大学学長)

開会挨拶 調整中 (文部科学省)

趣旨説明 齊藤 正樹 (東京工業大学教授、本プログラムコーディネーター)

プレナリーセッション 1 (09:15-11:30)

基調講演 1 畑村 洋太郎 (福島第一原子力発電所事故政府事故調査委員会委員長)

基調講演 2 調整中 (国際原子力機関 (IAEA))

基調講演 3 Remi LAMBERT (在日フランス大使館政務参事官)

プレナリーセッション 2 「福島第一原子力発電所事故による健康影響」 (11:45-12:30)

特別講演 神谷 研二 (広島大学放射線生物・医学研究所長)

プレナリーセッション 3 「福島第一原子力発電所事故からの変化」 (14:00-15:30)

招待講演 1 Alan WALTAR (米国、テキサス A&M 大学原子力工学科元教授・学科長)

招待講演 2 Andrey KARASEV (ロシア、ロスアトム 国際原子力安全・セキュリティ部門長)

招待講演 3 Philippe JAMET (仏国、仏国原子力安全委員会 (ASN) 委員)

プレナリーセッション 4 「福島第一原子力発電所事故後の原子力教育」 (15:45-17:45)

パネルディスカッション

パネリスト：

Zoltan PASZTORY (国際原子力機関 (IAEA) 原子力知識管理グループリーダー)

Francois PERCHET (世界原子力大学 (WNU)、世界原子力協会 (WNA))

Ryoko KUSUMI (欧州原子力教育ネットワーク (ENEN) 事務長)

Vladimir ARTISYUK (ロシア、継続教育・訓練中央機関 (CICE&T) 副学長)

Ki-In Han (韓国、韓国原子力研究所元上級副理事長、韓国電力国際原子力大学院 (KINGS)
学部長)

齊藤 正樹 (東京工業大学教授、本プログラムコーディネーター)

意見交換会（懇親会） 18:00-20:00

2013年2月19日（火）

プレナリーセッション 5「アジアにおける原子力の将来（I）」（09:00-10:30）

招待講演 4 Moon Hee CHANG（韓国、韓国原子力研究院（KAERI）元上級副理事長）

招待講演 5 Vuong Huu Tan（ベトナム、ベトナム原子力安全規制庁（VARANS）長官）

招待講演 6 Zaki Suud（インドネシア、バンドン工科大学 教授）

プレナリーセッション 6「アジアにおける原子力の将来（II）」（10:45-11:45）

招待講演 7 Noramly Muslim（マレーシア、元国際原子力機関（IAEA）事務次長）

招待講演 8 尾本 彰（東京工業大学教授、原子力委員会委員）

プレナリーセッション閉会の辞（11:45-12:00）

井頭 政之（東京工業大学教授）

注意：2月19日（火）の午後からは非公開（事前審査・登録した受講生のみ対象）のセミナーです。